

# 国際教師力研究会 NEWSLETTER

2021年4月16日 No.6









## コロナ禍におけるTokkatsuの役割とは？

### オンライン国際シンポジウム開催

恒吉僚子 文京学院大学副学長・元東京大学大学院教育学研究科・教授

「いかにして我々は全人的（holistic）教育を推進しうるか？いかにして社会性、思いやり等の非認知的なスキルを育成し、認知的なスキルと統合しうるか？日本以外の文化において、こうした全人的（holistic）なニーズを満たすために、tokkatsuモデルはどのように貢献しうるか？ソーシャルディスタンスや三密の回避が求められる現在のパンデミックの危機の中で、こうしたことをどのように進めていくのか？オンラインの活用の可能性は？学校が再開してもウイルスの脅威が残っている中で、全人的な目標をどのように進めることができるのか？ポストパンデミックの時代におけるtokkatsuモデルの役割は？」

2020年9月26日、コロナ禍にインドネシア、マレーシア、日本、エジプトを結ぶオンラインのシンポジウムを行いました。各国の学校の先生・校長先生方、教育省の方々、研究者、JICAなど多方面からの参加があり、様々な取り組みが発表されました。

- 恒吉僚子（当時東京大学大学院教育学研究科教授）  
「Educating Children Holistically: Implications from the Japanese Tokkatsu Model」
- 平野修（熊本市立帯山西小学校校長）  
「ハイブリッドで行う特別活動の実践提案」
- 草薙佳奈子（東京大学大学院教育学研究科附属CASEER教育高度化部門・助教）  
「Background of Tokkatsu in Indonesia」
- タタン・スラトノ（インドネシア教育大学（UPI）初等教員教育プログラム担当講師）  
■ ヨハナ・ディータ・マハヤニ・デウィ（インドネシア・バンドン サント・ユスツップ小学校校長）  
「Learning Journey within Caring Community : Continuity of Tokkatsu During COVID-19 Pandemic」
- 南部和彦（文京学院大学特任教授）  
「日本のコロナ禍における学校生活」
- 松崎瑞樹（独立行政法人国際協力機構(JICA)人間開発部基礎教育グループ課長）  
「Tokkatsu in Egypt」
- ロスナーニ・ハシム（マレーシア国際イスラム大学(IIUM)教育社会基盤学の元教授、教育学部長）  
「Malaysian Value-Based National Philosophy of Education and Enhancement of Practices Through Tokkatsu」
- マスチュラ・バディーズ（IIUM クリヤ教育学部教育心理学・カウンセリング学科准教授）  
「Educating Children Holistically: What the Tokkatsu Model Could Contribute to Malaysian Education in the the Post-Pandemic Era」

#### ご挨拶

2020年度で20年以上勤めました東京大学（教育学研究科）から、文京学院大学副学長・外国語学研究所特任教授に就任しました。今後、一層教育の国際化と多文化化に関わっていきたく思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 恒吉僚子

今回の国際シンポジウムの  
動画ダイジェスト版はこちらから  
<https://youtu.be/mLECzdCqC4g>

発行/国際教師力研究会  
<https://globaledumulti.jimdofree.com/>  
E-mail: [globaledumulti@gmail.com](mailto:globaledumulti@gmail.com)